

# 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆さんへ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	残膵癌における先行膵癌との分子病理学および臨床病理学的検討		
2. 対象患者	2001年1月1日から2017年12月31日までに弘前大学医学部附属病院で、残膵癌として切除術をお受けになった患者さん		
3. 対象となる期間	2001年 1月 1日 ~ 2017年 12月 31日		
4. 実施診療科等	消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科		
5. 研究責任者	氏名	石戸 圭之輔	所属 弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	東京医科大学茨城医療センター消化器外科 (鈴木、修司 主任教授)		
7. 研究の意義	近年、残膵癌が膵癌の生存率改善に伴って増加してきております。しかし、残膵癌は発見時進行癌であることが多いため、切除できないことも少なくありません。もし、切除できればさらなる生存率の改善が見込まれると考えられます。残膵癌は未だ単独施設では症例は非常に少なく、多施設での検討が必要です。また、残膵癌の詳細な特徴は明らかではなく、どのような膵癌が残膵癌としての再発を来し易いかにしても、不明な現状です。		
8. 研究の目的	本研究では膵癌初回手術後に、残っている膵臓に再発を来した残膵癌切除例を詳細に解析し、その特徴を明らかにします。その結果、膵癌切除時の残膵再発を予測できる情報を見出すことを研究の目的としています。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	<p>研究・調査項目</p> <p>①診療録や手術情報などから、先行膵癌手術後に残膵癌再発をきたした患者さんの治療データの抽出を行います。 治療データ: 年齢、性別、血液型、BMI(kg/m<sup>2</sup>)、腫瘍マーカーなどの血液所見、膵癌切除後病理検査データ、術前治療内容、術後治療内容、先行膵癌手術から残膵癌手術の期間、手術後生存期間など</p> <p>②先行膵癌と残膵癌における同一性、発生要因について分子解析により明らかにする。分子解析とは遺伝子変異パネル解析という手法を用いて、膵癌細胞から遺伝子の変異に関する情報を抽出します。</p> <p>③病理標本プレパラート、未染プレパラートを東北大学大学院医学系研究科病理形態学分野に提出し上記②の解析を行います。</p>		
10. 個人情報の保護	<p>研究実施に係る情報を取扱う際は、患者さんの個人情報とは無関係の符号又は番号との対応表を作成のうえ、どの患者さんの情報であるかが直ちに判別できないよう匿名化して管理し、患者さんの秘密保護に十分配慮します。対応表は当施設研究責任者の下で管理され、研究代表責任者に送付の際には匿名化された内容で送付を行い、そのソフトもパスワードの下で管理されます。研究結果は、患者さんにプライバシー上の不利益が生じないよう、適切に匿名化されていることを確認したうえで公表を行いません。また、研究の目的以外に、研究で得られた患者さんの情報を使用いたしません。</p> <p>なお、研究の実施に伴い対象患者さんの子孫に受け継がれ得る遺伝的特徴等に関する重要な知見が得られる可能性があります。しかし、ご遺族に無用な不安を与えることも考えられるため、研究で得られた遺伝情報は開示いたしません。</p>		

11. 利益相反に関する状況	本研究は、日本膵臓学会プロジェクト研究資金と上記項目6の代表研究責任者が所属する診療科の研究資金で実施いたします。また、本研究の研究者は、日本膵臓学会の「利益相反マネジメント規程」の規定に従って、日本膵臓学会の利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、その審査と承認を得ております。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座 石戸 圭之輔			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080